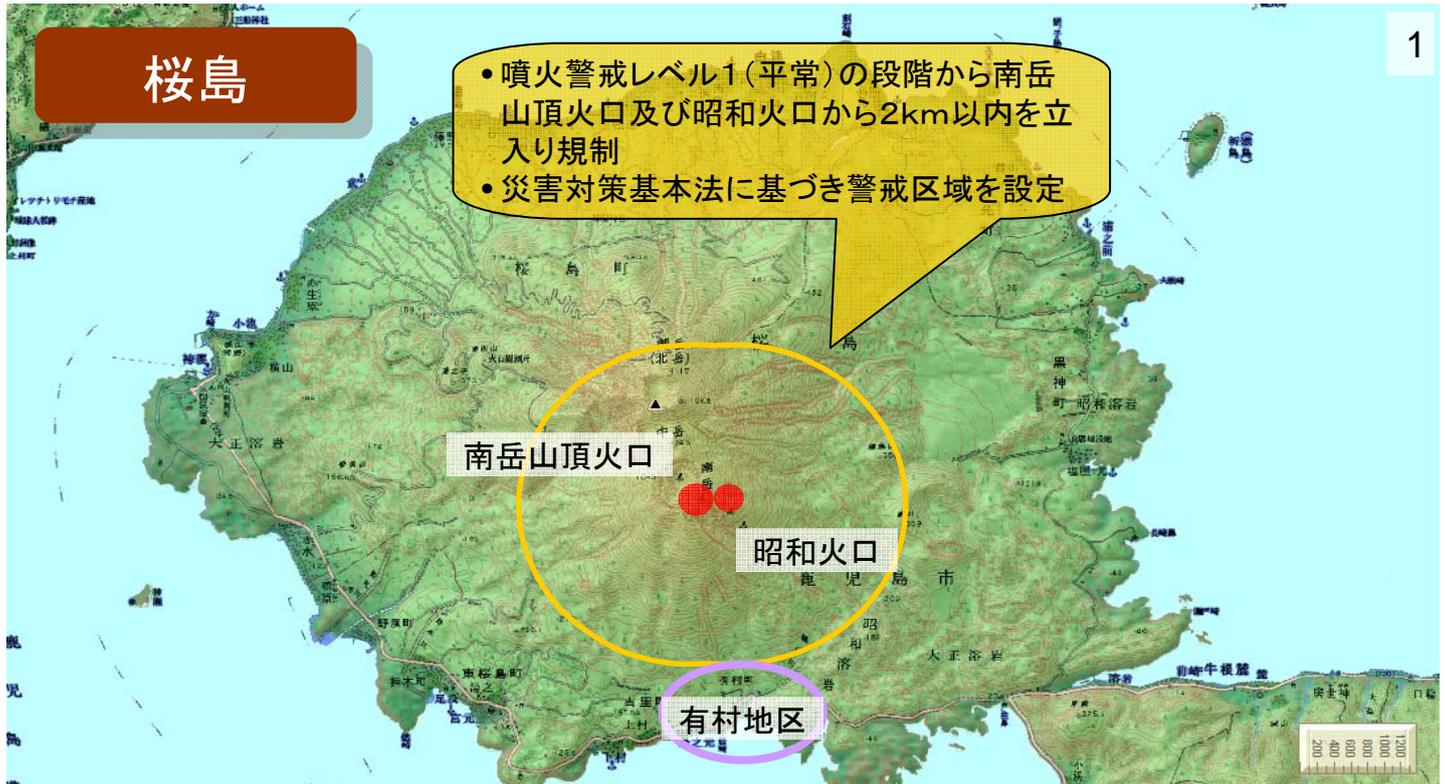


## 噴火警報等の発表状況と防災対応について



# 桜島

- 噴火警戒レベル1(平常)の段階から南岳山頂火口及び昭和火口から2km以内を立入り規制
- 災害対策基本法に基づき警戒区域を設定



日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2008			レベル2 火口周辺 規制	
2/3 0:39	振幅の大きな火山性地震を観測			
10:18	昭和火口で爆発的噴火。噴石4合目(火口から水平距離800-1,300m)まで到達			
11:30		火山の状況に関する解説情報「昭和火口で爆発的噴火。」		
15:54	昭和火口で爆発的噴火。火砕流が火口東側約1km流下			
16:10		火口周辺警報(レベル3、入山規制)「昭和火口で爆発的噴火。今後も噴石や火砕流伴う噴火が予想される」	レベル3 入山規制	防災行政無線及び消防車両による周知(鹿児島市) 火口から2km規制(規制範囲の変更はなし)
2/4				「桜島火山防災連絡会」 今後の桜島の活動見込み解説
2/6 11:25	昭和火口で爆発的噴火。火砕流は火口東側約1.5km流下。噴石5合目			
2/7				「桜島火山防災連絡会」 火砕流による、黒神地区、有村地区の緊急避難対策及びレベル4の規制範囲の検討
2/8				「桜島火山防災連絡会」大隅河川国道事務所、リアルタイムハザードマップ提供
2/20 14:20		火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)「6日以降噴火の発生なし。火山性地震等低調な状態」		火口から2km規制(規制範囲の変更はなし)

日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
4/4			レベル2 火口周辺 規制	「桜島火山防災連絡会」 今後の活動予測について解説
4/8	0:29 昭和火口で爆発的噴火。 噴石5合目飛散。火砕流 火口東側約1kmまで流下			
	10:30	火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 「昭和火口で爆発的噴火。 昭和火口活発化のおそ れ。」	レベル3 入山規制	防災行政無線及び消防車両による周知(鹿 児島市) 火口から2km規制(規制範囲の変更なし)
4/9~	4月9日以降、6月末まで、 大きな噴石を飛散させる 噴火が断続的に発生、噴 石は最長5合目まで飛散。			4/9、4/14、4/24 「桜島火山防災連絡会」 火山活動と防災対応について検討
5/21				桜島の有村地区の住民に対して火山の状 況について説明を実施(市、県、気象台)
7/11				「桜島火山防災連絡会」 防災対応についての検討
7/14	15:00	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「噴火回数減少。火山性地 震も少なく活発化の傾向な し。」	レベル2 火口周辺 規制	火口から2km規制(規制範囲の変更なし)
7/28	07:05 昭和火口で噴火。噴煙 3,300m			
	07:30	降灰予報「降灰の地域予想」		
	10:10 昭和火口で爆発的噴火。 噴石4合目まで飛散。噴 煙3,200m			
	10:55	降灰予報「降灰の地域予想」		
	11:05	火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 「昭和火口で爆発的噴火。 噴火活動活発化のおそ れ。」	レベル3 入山規制	防災行政無線及び消防車両による周知(鹿 児島市) 火口から2km規制(規制範囲の変更なし)
7/29				「桜島火山防災連絡会」 レベル3引上げの解説
8/8				「桜島火山防災連絡会」 有村地区の境界等の調査について
8/28	15:00	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「噴火回数減少。火山性地 震も少なく活発化の傾向な し。」	レベル2 火口周辺 規制	火口から2km規制(規制範囲の変更なし)
9/2				「桜島爆発災害対策連絡会議」 活動経過と今後の予測
2009 1/14				「桜島爆発総合防災訓練」

### 平成20年5月21日の有村地区への対応状況(鹿児島地方気象台報告)

- ・鹿児島市、鹿児島県、鹿児島地方気象台により桜島有村地区住民(9世帯14人対象)への噴火警戒レベルや避難等に関する説明を実施。
- ・「火口にもっとも近い有村地区に危険が迫った場合は、噴火警戒レベルを4、5に引き上げ、防災無線でお知らせして避難を呼びかける。消防隊員が避難支援に駆けつけるので、その場合は避難所(高齢者福祉センター)へ避難してほしい」と説明。(鹿児島市)
- ・住民からは「噴火時等の避難に際して配慮いただきありがたい」との回答をいただいた一方、避難時の空き巣等の治安上の不安を抱いているという声が一件あった。



リアルタイムハザードマップ(大隅河川国道事務所提供)

想定火口: 昭和火口  
想定規模: 昭和60年代の最大噴火規模(60万m<sup>3</sup>)



有村地区の住民説明の様子

# 霧島山 (新燃岳)



図 規制の状況

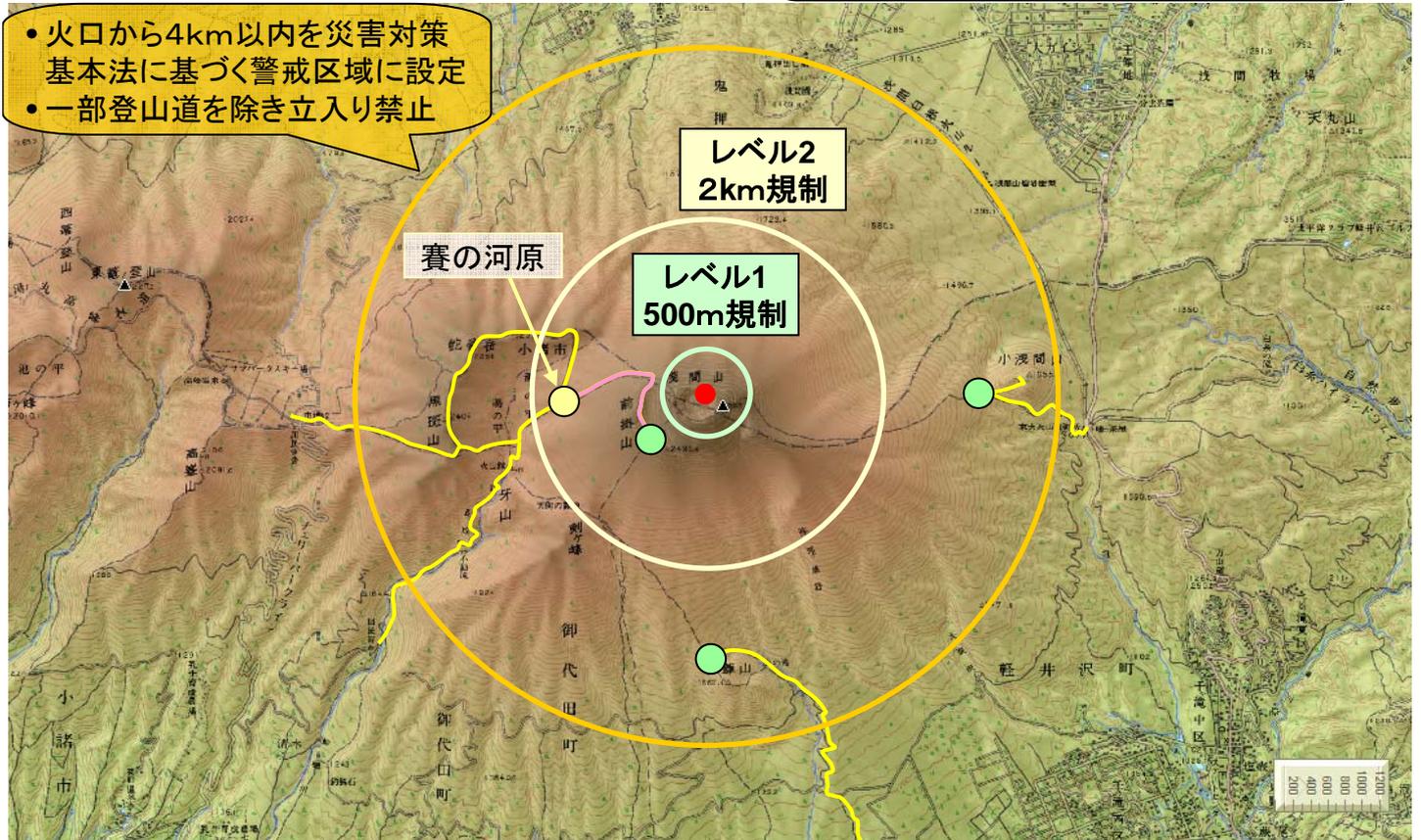
左 規制看板

右 規制ロープ設置(レベル2)

日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2008			レベル1 平常	
8/19	火山性地震の発生回数が増加			
8/21 16:10		火山の状況に関する解説情報 「振幅の小さな火山性地震が増加、現地調査結果特段変化なし」		
8/22 16:34頃	新燃岳で噴火が発生し、振幅の大きな火山性微動を観測。			
17:00頃	降灰の問い合わせが多数入る (宮崎県小林市等から)  (微動発生と共に噴火が発生した模様)			
17:15		火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「振幅の大きな火山性微動観測、19日から火山性地震やや多い状態で推移」	レベル2 火口周辺 規制	新燃岳火口から1km規制  (自治体)新燃岳周辺で登山道規制(規制ロープ、立看板設置)
8/22 ～	火山性地震、微動、噴煙等を観測			8/24 宮崎県防災ヘリにより、上空にて注意喚起の放送を実施  8/25 「霧島山火山防災対策連絡会議(宮崎県側)」 レベル3時の防災対応確認  8/26「霧島市、鹿児島県、鹿児島気象台の3者会議」 防災対応確認  9/2「霧島山噴火災害対策連絡会議(鹿児島県側)」 レベル3の防災対応確認  10/15「霧島山噴火災害対策連絡会議(鹿児島県側)」  10/17「レベル引き下げに係る担当者会議(宮崎県側)」  10/28 両県、関係市町による合同現地調査及びレベル引き下げに係る合同打合せの実施
10/29 11:00		噴火予報(レベル1、平常) 「火山活動は落ち着いた状態」	レベル1 平常	1km規制を解除。火口内は立ち入り禁止。

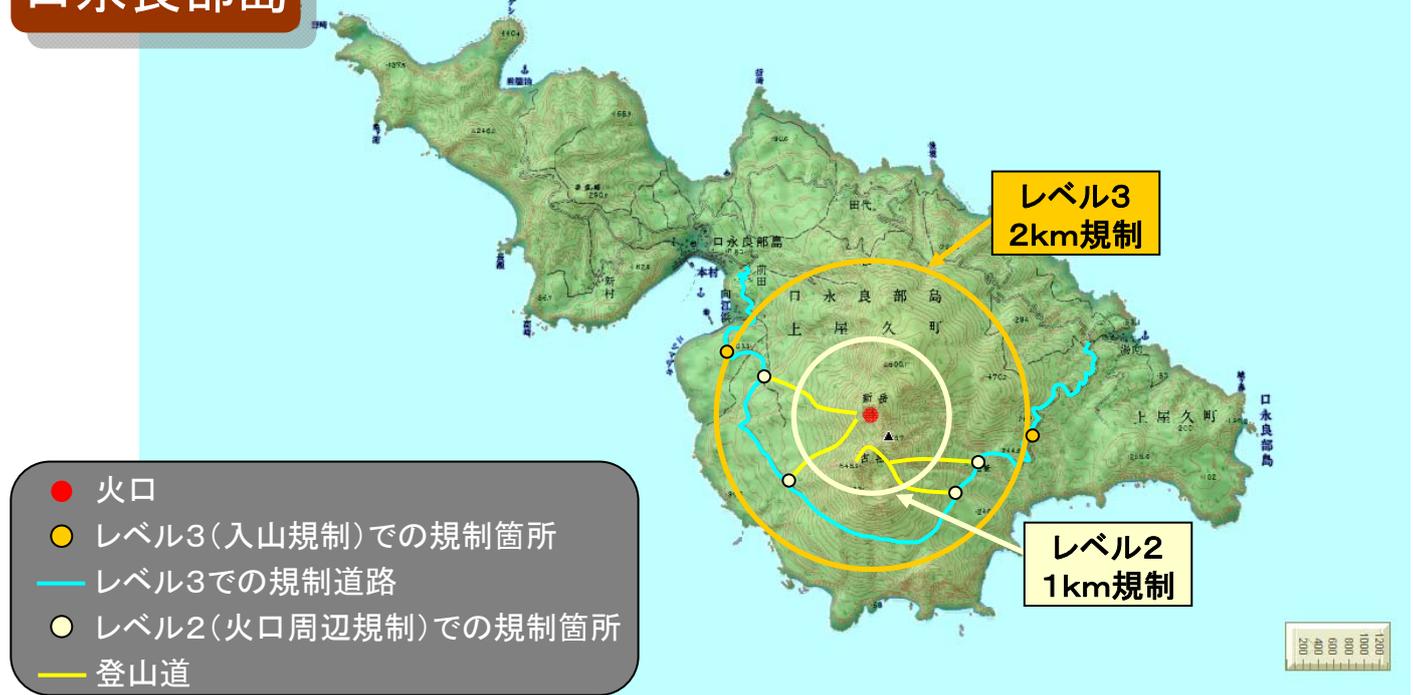
# 浅間山

- 火口
- レベル2(火口周辺規制)での規制箇所
- レベル2での規制登山道
- レベル1(平常)からの規制箇所
- 登山道



日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2008 7/～	火山性地震やや多い状態で推移		レベル1 平常	周辺市町村に随時活動の解説。 防災対応の確認依頼。
8/5～	火山性地震さらに増加			
8/8 15:00		火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「7月頃から、火山性地震 がやや多い状態で推移」	レベル2 火口周辺 規制	・(小諸市)賽の河原より先の登山道を規制 ・防災無線で広報実施し、浅間山 周辺観光施設、観光業者に周知 ・防災無線で広報実施し、浅間山 周辺観光施設、観光業者に周知 ・ヘリコプターの機上観測による 臨時調査を実施
8/10 2:37頃	ごく小規模な噴火が発生し、噴煙は火口縁上400mまで上がる  8/10以降、二酸化硫黄放出量1000トン超、夜間には微弱な高感度カメラで火映見られる。熱活動高まった状態	火山の状況に関する解説情報等で活動状況を定期的に発表		
8/11 20:05頃	ごく小規模な噴火が発生し、噴煙は火口縁上200mまで上がる			
8/14 7:59頃	ごく小規模な噴火が発生し、噴煙は火口縁上400mまで上がる			
9/～	火山性地震やや多い状態、二酸化硫黄放出量は多い状態が続く。			

# 口永良部島



- 火口
- レベル3(入山規制)での規制箇所
- レベル3での規制道路
- レベル2(火口周辺規制)での規制箇所
- 登山道

日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2008			レベル1 平常	
9/2	振幅のやや大きな火山性地震が増加			
9/4	さらに火山性地震が増加し、継続時間1分程度の火山性微動が発生		レベル2 火口周辺規制	
10:00		火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「火山性地震増加、継続時間1分程度の火山性微動発生」		・新岳火口半径1kmにおいて立入規制(登山道入口規制) ・ヘリ観測(海上保安庁観測)(以降、ヘリ観測を随時実施)
9/22	16:40	火山の状況に関する解説情報 「GPSによる地殻変動観測では、9月以降、新岳火口周辺の膨張傾向を示すわずかな変化が見られています」		
10/25	噴気が増加するなど火山活動はさらに高まる			・ヘリ観測実施(海上保安庁協力)実施
10/27	11:00	火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 「新岳火口浅部の膨張を示す変化が続き、噴気や火山ガスの放出量も増加等、火山活動高まる」	レベル3 入山規制	新岳火口半径2kmにおいて立入規制(南側林道を規制)
10/29				「第1回口永良部島火山防災対策連絡会議」(レベル4・5の防災対応確認)
11/18				気象庁 機動観測、火山活動の住民説明実施

# 雌阿寒岳

- 火口
- ロープ規制箇所(9月の警報発表時のみ)
- 注意喚起看板設置箇所
- 登山道



500m規制  
規制は行政指導によるもの



日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2008				
9/16	振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生		平常	
9/26	体に感じない程度の小さな火山性地震が増加			
9/29 14:11頃	振幅のやや大きな火山性微動が発生し、直後に火山性地震が多発			
	14:30	火口周辺警報 (火口周辺危険) 「火山性微動観測(9月26日から火山性地震増加)」	火口周辺危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンマチネシリ火口から500m以内立入り規制</li> <li>・入山届記入箇所や観光関係施設に注意喚起のチラシを配置</li> <li>・雌阿寒岳噴火対応計画検討会」を開催</li> <li>・自治体がHPにおいて注意喚起を実施</li> </ul>
9/30				
10/17	10:00	噴火予報(平常) 「火山性地震は低調。火山活動は落ち着いた状態」	平常	規制を解除。 火山の状況を自治体に説明。
11/16	0:56頃	振幅が小さく継続時間のやや長い火山性微動が発生		
11/17	10:05頃～	振幅が小さく継続時間の長い火山性微動が発生		
11/17	14:30	火口周辺警報 (火口周辺危険) 「火山性微動観測」	火口周辺危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンマチネシリ火口から500m以内への立入り規制</li> <li>・入山届記入箇所や観光関係施設に注意喚起のチラシを配置</li> <li>・自治体がHPにおいて注意喚起を実施</li> </ul>
11/18	明け方	ごく小さな噴火が発生し、火口から100m以内の範囲で数十cmの噴石		
11/28		ごく小規模な噴火が発生		
12/16	10:00	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	レベル2 火口周辺規制	噴火警戒レベル導入 規制範囲はこれまでと変更なし。

# 諏訪之瀬島

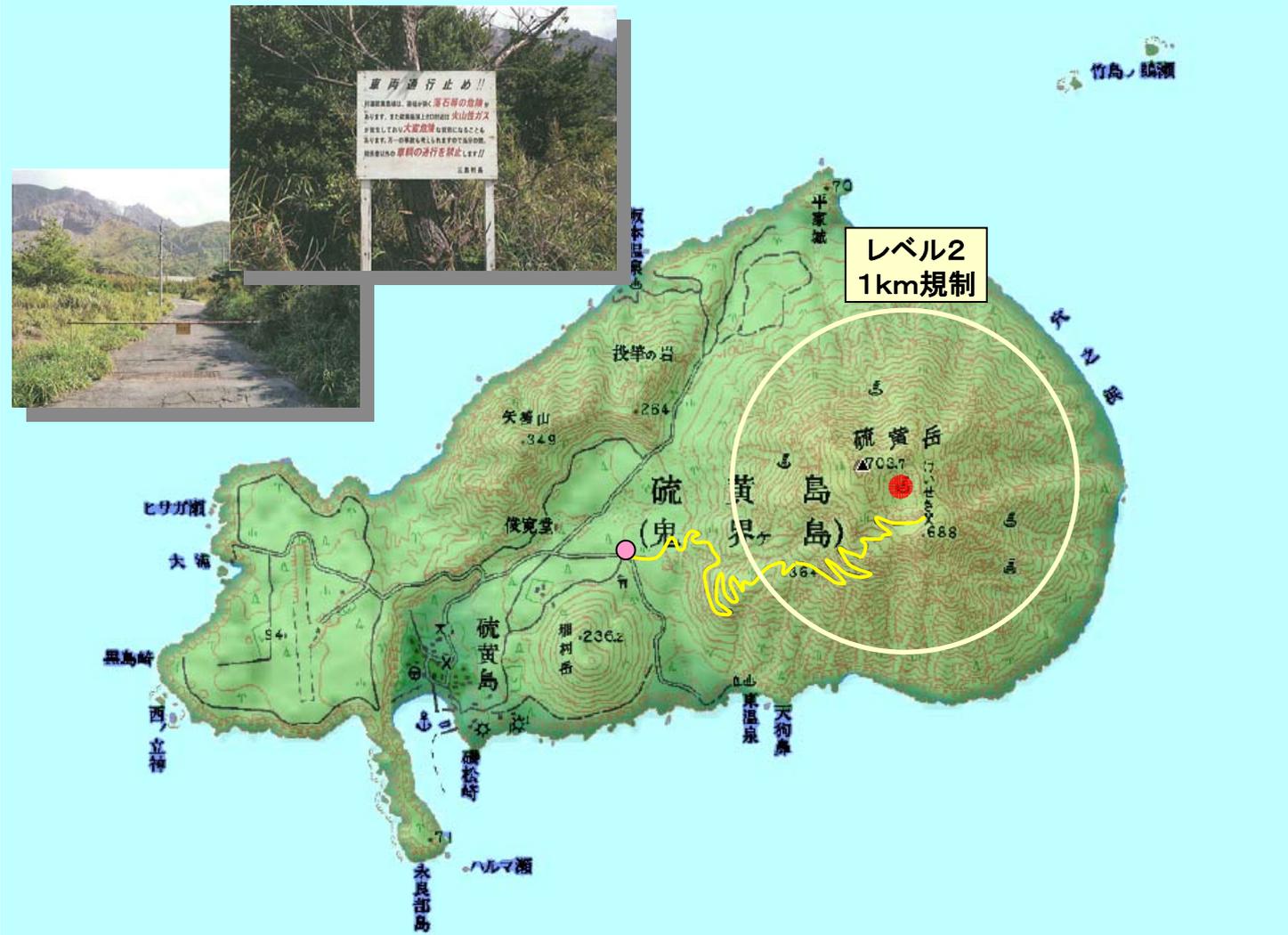
- 火口
- ロープ規制箇所
- 注意喚起看板設置箇所
- 登山道



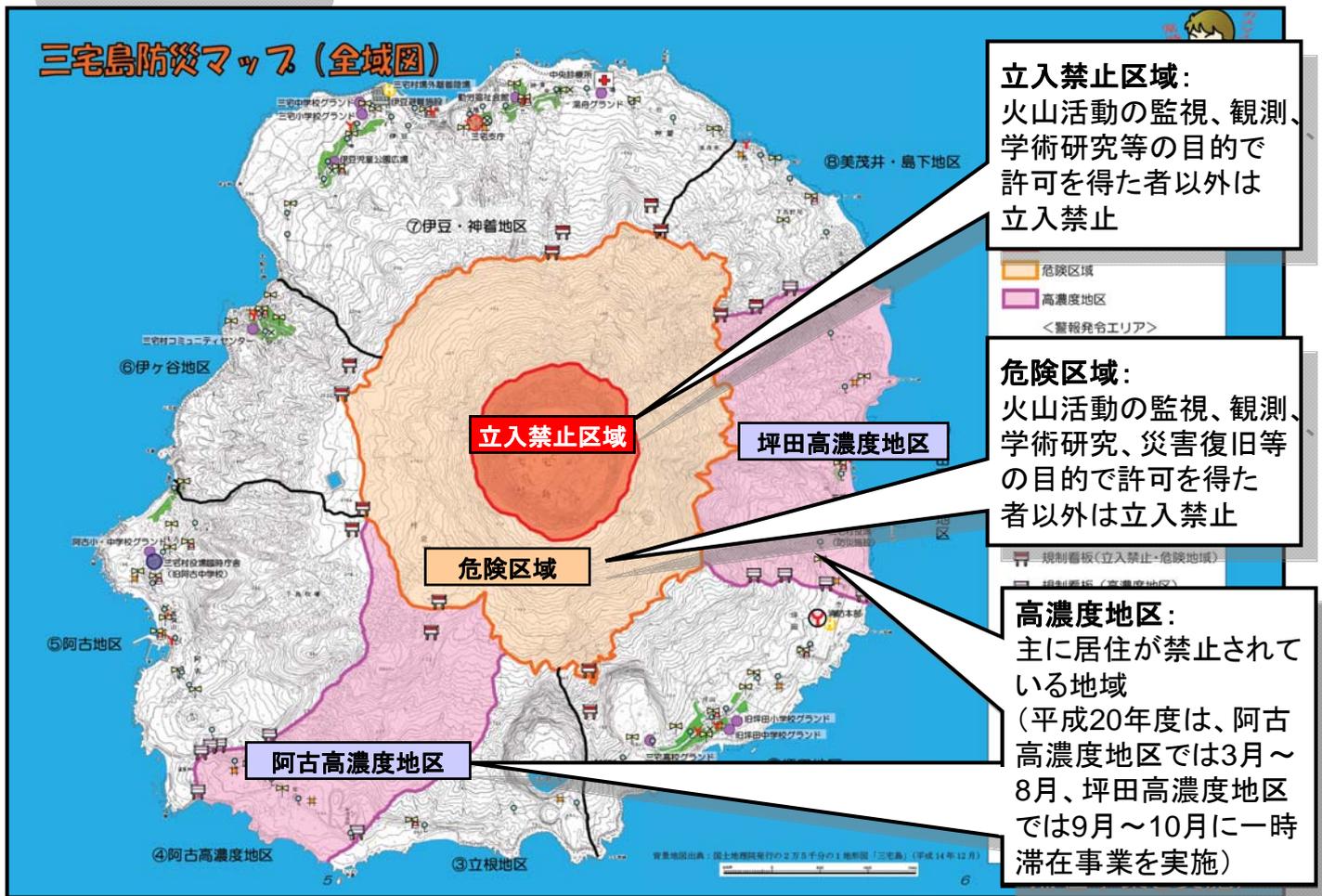
日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2007			レベル2 火口周辺 規制	噴火警戒レベル導入(レベル2)。御岳から1km規制。
12/1 10:06	御岳火口では時々小規模な噴火が発生。	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「長期にわたり噴火活動が続いており、現在、火山性地震および火山性微動はやや多い状態。御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想」		

# 薩摩硫黄島

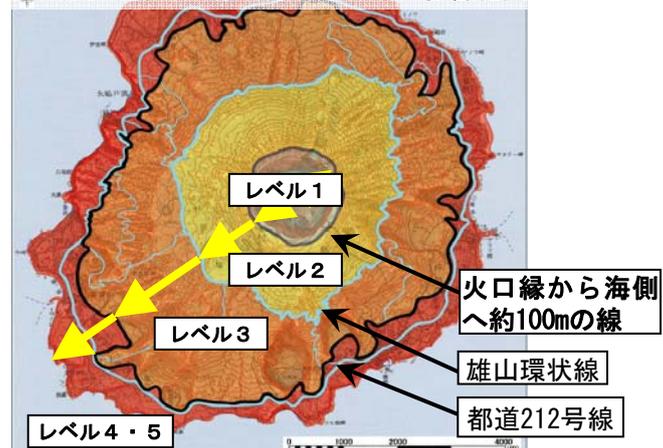
- 火口
- ロープ規制箇所
- 登山道



日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2007				
12/1 10:04	火山性地震、火山性微動はやや多い状態。	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「噴煙活動やや活発な状態。火山性地震及び火山性微動はやや多い状態。火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想」	レベル2 火口周辺規制	噴火警戒レベル導入(レベル2)。硫黄岳火口から1km規制。



(参考) 山頂噴火におけるレベル毎の影響範囲



日時	主な火山現象	主な噴火警報等	レベル	主な防災対応
2008 3/31 ～	山頂火口からの二酸化硫黄放出量1000-3000トン/日。 5/8山頂火口でごく小規模な噴火発生。	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 「多量の火山ガス放出および地震回数やや多い状態が継続。火口周辺では噴火等に対する警戒が必要」	レベル2 火口周辺規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火警戒レベル導入。三宅村地域防災計画に従い、レベル2では雄山環状線内側を規制。</li> <li>火山活動について、三宅島火山防災連絡事務所から、随時島内4者連絡会委員に解説。</li> </ul>